

Melec



5相ステッピングモータドライバ

GDB-5KS50

取扱説明書

(設計者用)

USER'S MANUAL

本製品を使用する前に、この取扱説明書を良く読んで十分に理解してください。
この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるように保管してください。

MN0420

はじめに

この取扱説明書は、「5相ステッピングモータドライバ GDB-5KS50」を安全に正しく使用していただくために、仕様に重きをおいた取り扱い方法について、ステッピングモータを使った制御装置の設計を担当される方を対象に説明しています。

使用する前に、この取扱説明書を良く読んで十分に理解してください。

この取扱説明書はいつでも取り出して読めるように保管してください。

安全に関する事項の記述方法について

本製品は、正しい方法で取り扱うことが大切です。

誤った方法で取り扱った場合、予期しない事故を引き起こし、人身への障害や、財産の損壊などの被害を被る場合があります。

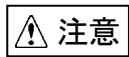
そのような事故の多くは、危険な状況を予め知っていれば回避することができます。

そのため、この取扱説明書では予想できるかぎりの危険な状況や、注意事項が記述してあります。

それらの記述は、次のようなシンボルマークとシグナルワードで示しています。



取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う場合のある警告事項が書かれています。



取り扱いを誤った場合に、軽傷を負う場合や他の物的損害が発生する場合のある注意事項が書かれています。

はじめに

安全に関する事項の記述方法について

	目 次	PAGE
1. 安全		
1-1. 安全上の注意事項	-----	6
1-2. 取扱上の安全情報	-----	7
2. 概要		
2-1. 特徴	-----	10
2-2. 製品の構成	-----	10
2-3. 外観	-----	10
3. 各部の名称と働き		
3-1. 信号入出力コネクタ (J1)	-----	11
3-2. DC入力・モータ出力コネクタ (J2, J3)	-----	12
3-3. POWER LED	-----	12
3-4. O. H. A LED	-----	12
3-5. 操作部	-----	13
4. 設定		
4-1. モータ選択スイッチの設定	-----	15
4-2. ステップテーブルスイッチおよびステップ角選択スイッチの設定	-----	16
4-3. HOLD電流選択スイッチの設定	-----	17
4-4. DRIVE電流選択スイッチの設定	-----	18
4-5. パルス入力方式選択スイッチの設定	-----	19
4-6. HOLD切替時間選択スイッチの設定	-----	20
4-7. 回転特性選択スイッチの設定	-----	21
4-8. 拡張機能選択スイッチの設定	-----	22
5. 取付		
5-1. 取付条件	-----	23
5-2. 取付方法	-----	24
6. 接続		
6-1. 全体の接続構成	-----	25
6-2. 信号入出力コネクタ (J1) の接続	-----	26
6-3. DC入力・モータ出力コネクタ (J2, J3) の接続	-----	27
6-4. 電源の投入	-----	29
7. 設定と接続の確認		
7-1. チェック項目	-----	30

	PAGE
8. 保守と点検	
8-1. 保守・点検	31
8-2. トラブルシューティング	32
9. 保管と廃棄	
9-1. 保管	33
9-2. 廃棄	33
10. 仕様	
10-1. 一般仕様	34
10-2. 入出力信号	
(1) 回路接続例	35
(2) ドライブパルス入力 (CW, CCW)	36
(3) モータ励磁停止入力 (M. F)	37
(4) 相信号出力 (P. O)	38
(5) 過熱警告信号出力、過熱警告LED (O. H. A) および過熱防止機能 (O. H. C)	39
(6) ステップ角切替入力 (C. S)	40
10-3. 寸法図	41
10-4. 適用モータ	42
10-5. トルク特性	43


本版で改訂された主な箇所

1. 安全

1-1. 安全上の注意事項

 警告


- (1) 本製品は、原子力関連機器、航空宇宙関連機器、車両、船舶、人体に直接関わる医療機器、財産に大きな影響が予測される機器など、高度な信頼性が要求される装置向けには設計・製造されておりません。
- (2) 爆発性雰囲気、引火性ガスの雰囲気、腐食性の雰囲気、水のかかる場所、粉塵、油煙、水蒸気、放射線下、直射日光が当たる場所では、使用・保管をしないでください。けが・火災の原因になります。
- (3) ドライバの電源には一次側と二次側が強化絶縁された直流電源を使用してください。感電の原因になります。
- (4) 本製品は機器組み込み用です。必ずエンクロージャ内に設置してください。けがの原因になります。
- (5) 運搬・移動・取り付け・接続・配線・点検などの作業は、電源を切ってからおこなってください。けが・火災の原因になります。
- (6) 運搬・移動・取り付け・接続・配線・点検などの作業は、専門知識のある人が実施してください。けが・火災の原因になります。

 注意

- (7) 運転中および停止後しばらくの間は、ドライバに触れないでください。やけどの原因になります。
- (8) 本製品は必ずこの取扱説明書に記載の指定方法および仕様の範囲内で使用してください。
- (9) ステッピングモータは使用条件によっては停止時および運転中に脱調する場合があります。特に上下駆動（Z軸など）で脱調すると搬送物が落下する場合があります。試運転の際に十分な動作確認を行って使用してください。
- (10) 外部の電源の異常や信号線の断線、ドライバ本体の故障時でもシステム全体が安全側に働くように、フェールセーフ対策を施してください。


1-2. 取扱上の安全情報

●全般

 注意


運転中および停止後しばらくの間は、ドライバに触れないでください。ドライバが高温のためやけどの原因になります。

●モータ選択スイッチを設定するとき

 注意


設定をあやまると、モータの過熱により、やけどの原因になります。
正しく設定してください。

●ステップ角選択スイッチを設定するとき

 注意


設定をあやまると、モータの予期せぬ回転により、機械の破損、けがの原因になります。
正しく設定してください。

●HOLD電流選択スイッチを設定するとき

 注意


設定を高くすると、モータの過熱により、やけどの原因になります。
必要以上に設定を高くしないでください。

●DRIVE電流選択スイッチを設定するとき

 注意


設定を高くすると、モータの過熱により、やけどの原因になります。
必要以上に設定を高くしないでください。

●パルス入力方式選択スイッチを設定するとき

 注意


設定をあやまると、モータの予期せぬ回転により、機械の破損、けがの原因になります。
正しく設定してください。

●回転特性選択スイッチを設定するとき

 注意


設定をあやまると、モータの予期せぬ回転により、機械の破損、けがの原因になります。
正しく設定してください。

●拡張機能選択スイッチを設定するとき

 注意


設定をあやまると、モータの予期せぬ回転により、機械の破損、けがの原因になります。
正しく設定してください。

●取り付けるとき

 警告


不燃物に取り付けてください。
可燃物から離してください。
過熱により火災の原因になります。

●DC入力・モータ出力コネクタ（J2、J3）を接続するとき

 注意


接続をあやまると、モータ破損・ドライバ破損の原因になります。
モータ配線は正しく接続してください。

●電源を投入するとき

 注意

モータの予期せぬ動作により、機械の破損、けがの原因になります。
いつでも非常停止できる状態にしてください。

●モータ励磁停止入力（M. F）信号を入力するとき

 注意

モータの保持力低下により、機械の破損、けがの原因になります。
安全を確認して入力してください。

●過熱警告信号出力（O. H. A）信号が出力するとき

 警告


この信号が出力されたときは運転を中止してください。
過熱により、火災の原因になります。

●過熱警告（O. H. A）LEDが点灯するとき

 警告

このLEDが点灯したときは運転を中止してください。
過熱により、火災の原因になります。

●保守・点検をするとき

 警告

ヒューズ交換は行わないでください。
分解、修理、改造は行わないでください。
けが、火災の原因になります。

2. 概要

2-1. 特徴

GDB-5KS50は、DC+24V 入力の5相ステップモータ用ドライバです。
 1. 2A/相～2. 8A/相の5相ステップモータが駆動できます。
 基本角の 1/1分割～1/8000分割まで18種のステップ角が選択できます。
 HOLD電流と DRIVE電流が設定できます。

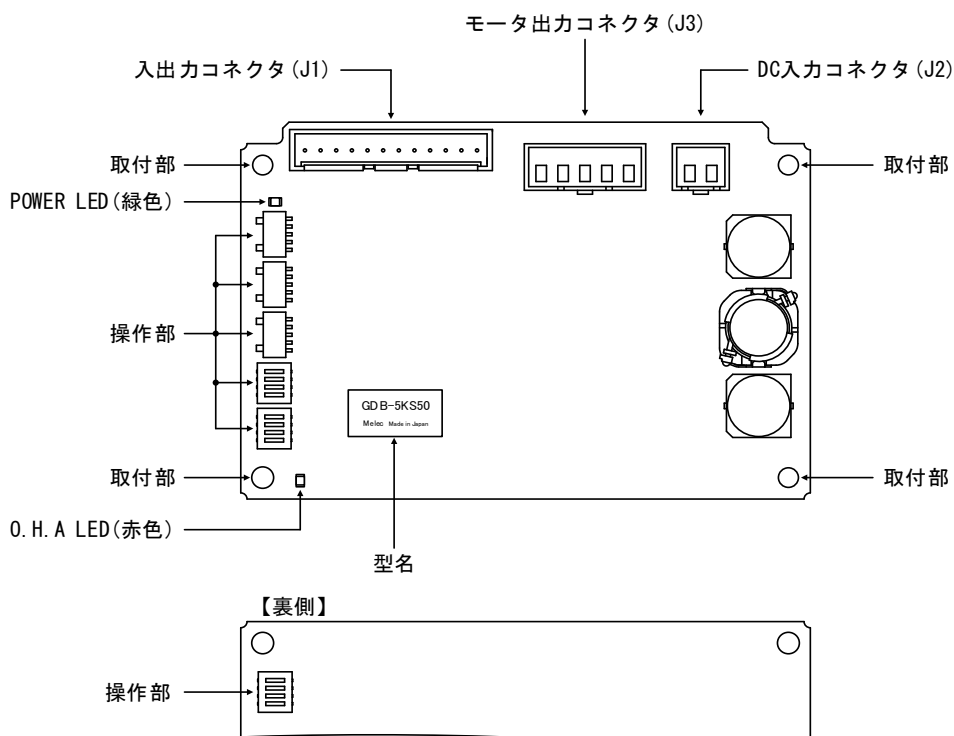
- 「10-4. 適用モータ」に駆動の対象とするモータとモータ別の設定を示してあります。
- 過熱警告信号出力 (O. H. A) は必ず使用してください。
 過熱警告信号 (O. H. A) が出力される場合は、強制空冷を施してください。

2-2. 製品の構成

- GDB-5KS50 1台(本体)

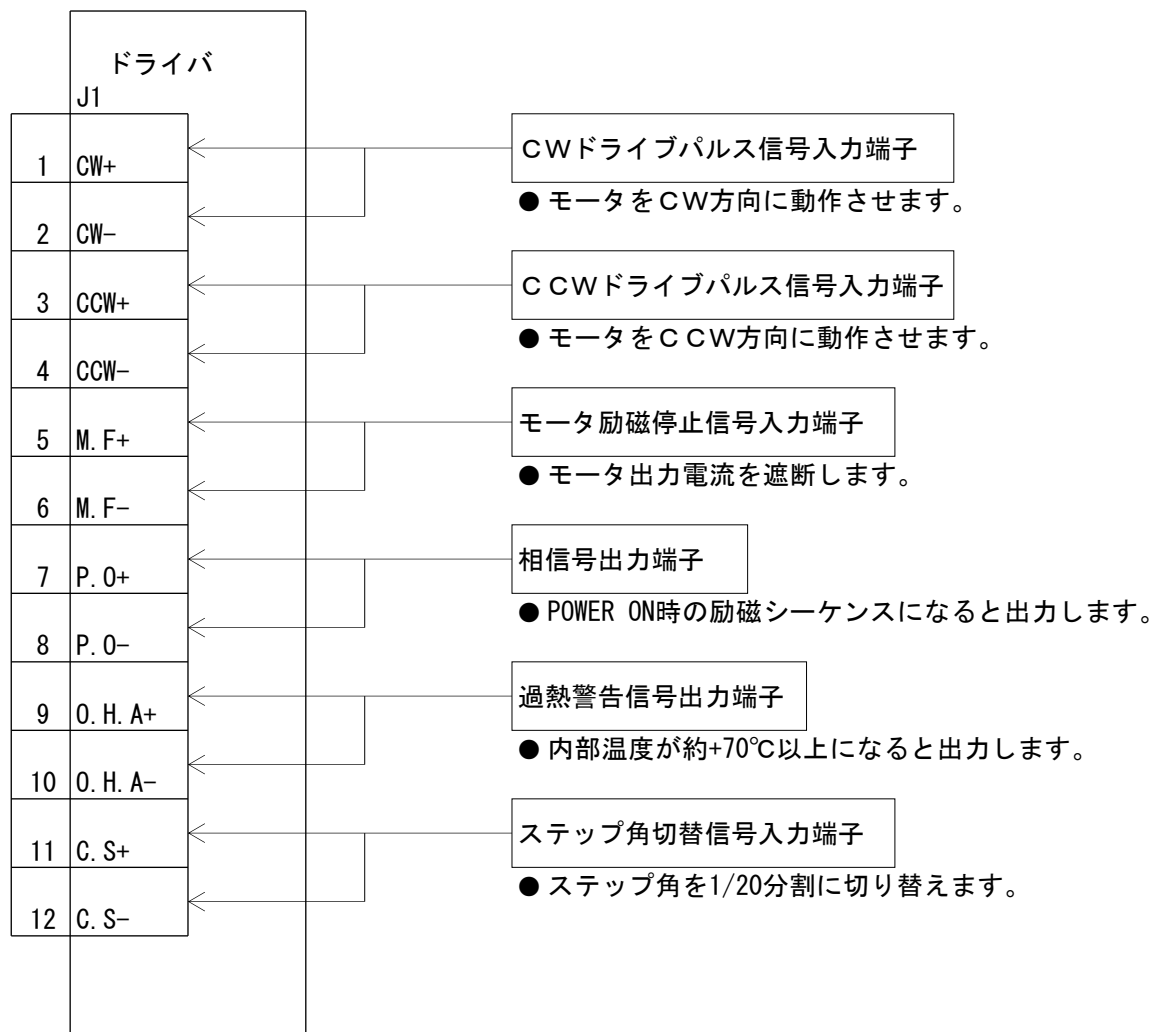
J1、J2、J3用のハウジング及びコンタクトは付属品ではありません。

2-3. 外観

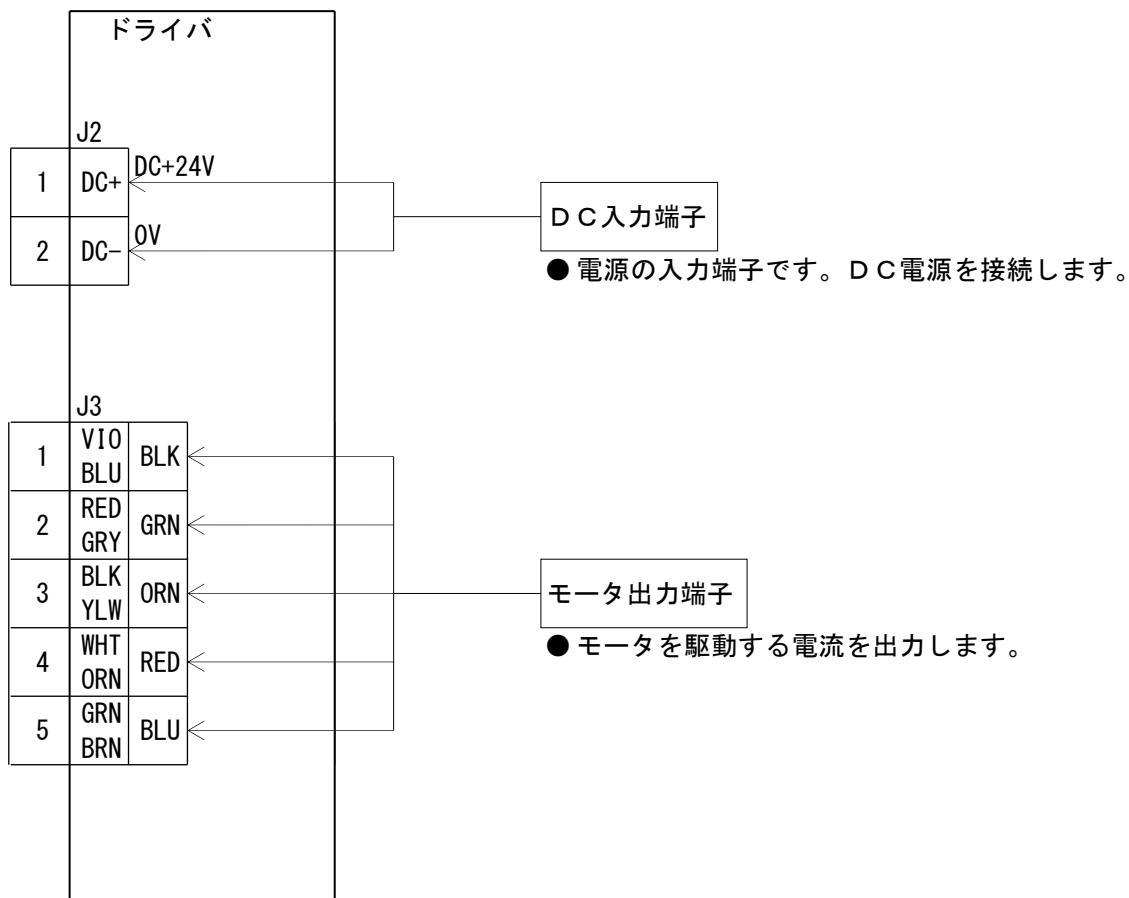


3. 各部の名称と働き

3-1. 信号入出力コネクタ (J1)



3-2. DC入力・モータ出力コネクタ (J2、J3)



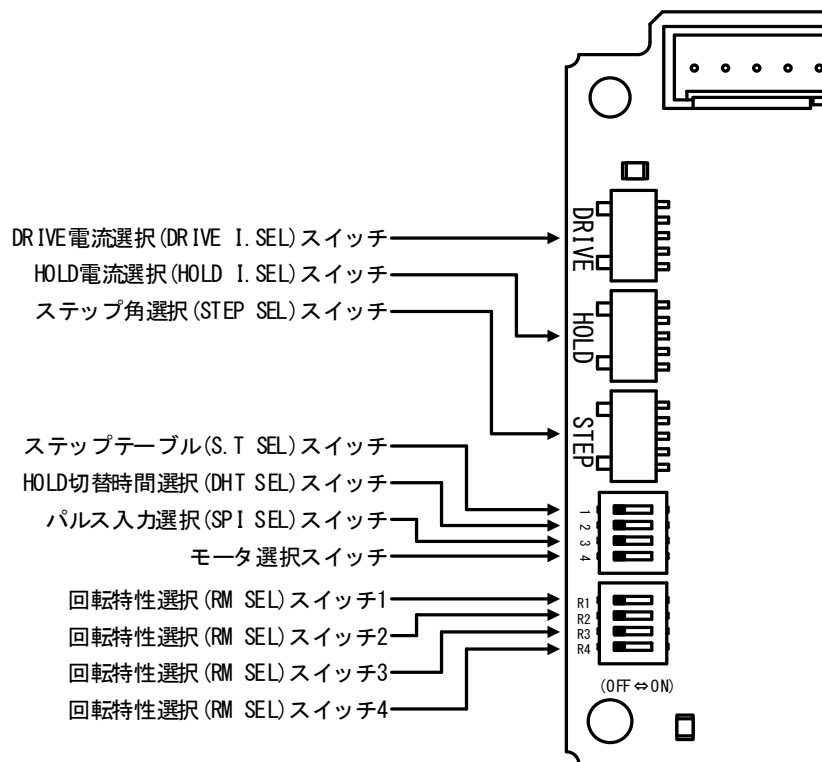
3-3. POWER LED

電源を入力すると POWER LED (緑色) が点灯します。

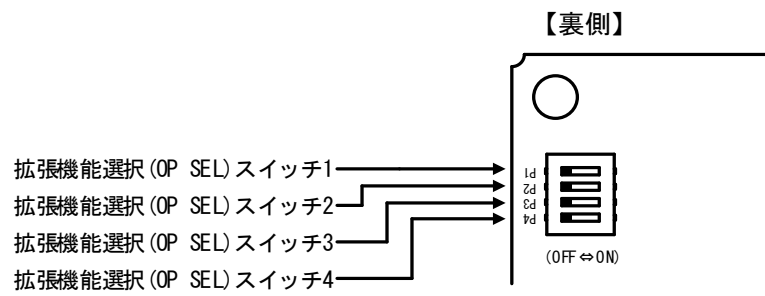
3-4. O.H.A LED

内部温度が約+70°C以上になったとき、O.H.A LED (赤色) が点灯します。

3-5. 操作部




操作部の名称	働き	出荷時設定
DRIVE電流選択スイッチ	DRIVE電流を選択します。	[No. F]
HOLD電流選択スイッチ	HOLD電流を選択します。	[No. 8]
ステップ角選択スイッチ	ステップ角を選択します。	[No. 1]
1 ステップテーブルスイッチ	ステップテーブルを選択します。	1: [OFF (S. T1)]
2 HOLD切替時間選択スイッチ	DRIVE/HOLD電流自動切替時間を選択します。	2: [OFF (150ms)]
3 パルス入力方式選択スイッチ	パルス入力方式を選択します。	3: [OFF (2P)]
4 モータ選択スイッチ	OFFで使用してください。	4: [OFF]
1 回転特性選択スイッチ1	回転特性を選択します。	R1: [OFF]
2 回転特性選択スイッチ2	回転特性を選択します。	R2: [OFF]
3 回転特性選択スイッチ3	回転特性を選択します。	R3: [OFF]
4 回転特性選択スイッチ4	回転特性を選択します。	R4: [OFF]



操作部の名称	働き	出荷時設定
1 拡張機能選択スイッチ1	拡張機能を選択します。	P1: [OFF]
2 拡張機能選択スイッチ2	拡張機能を選択します。	P2: [OFF]
3 拡張機能選択スイッチ3	拡張機能を選択します。	P3: [OFF]
4 拡張機能選択スイッチ4	拡張機能を選択します。	P4: [OFF]

4. 設定

4-1. モータ選択スイッチの設定

 注意

設定をあやまると、モータの予期せぬ回転により、機械の破損、けがの原因になります。
正しく設定してください。

このスイッチは電源 OFF時に設定します。

- (1) [OFF] で使用してください。

4-2. ステップテーブルスイッチおよびステップ角選択スイッチの設定

⚠ 注意

設定をあやまると、モータの予期せぬ回転により、機械の破損、けがの原因になります。
正しく設定してください。

S.T SELスイッチと STEP SELスイッチでステップ角を設定します。
18種のステップ角が選択できます。
このスイッチは電源 OFF時に設定します。

- (1) 電源を [OFF] にします。
- (2) S.T SELスイッチと STEP SELスイッチの組み合わせで必要なステップ角に設定します。

● S.T SELスイッチおよび STEP SELスイッチとステップ角の関係

S.T SEL スイッチ [OFF : S.T 1]			S.T SEL スイッチ [ON : S.T 2]		
STEP SEL No.	分割数	ステップ角(°)	STEP SEL No.	分割数	ステップ角(°)
		0.72° モータ			0.72° モータ
0	1/1	0.72	0	1/1	0.72
1	1/2	0.36 (出荷時)	1	1/2	0.36
2	1/4	0.18	2	1/4	0.18
3	1/8	0.09	3	1/8	0.09
4	1/10	0.072	4	1/10	0.072
5	1/20	0.036	5	1/20	0.036
6	1/40	0.018	6	1/40	0.018
7	1/80	0.009	7	1/80	0.009
8	1/100	0.0072	8	1/100	0.0072
9	1/200	0.0036	9	1/200	0.0036
A	1/400	0.0018	A	1/400	0.0018
B	1/800	0.0009	B	1/800	0.0009
C	1/1000	0.00072	C	1/1000	0.00072
D	1/2000	0.00036	D	1/2000	0.00036
E	1/4000	0.00018	E	1/16	0.045
F	1/8000	0.00009	F	1/160	0.0045

● C.S信号を組み合わせて2種のSTEP駆動ができます。

● 分割数1/1000、1/2000、1/4000、1/8000の設定からその他の分割数(1/1~1/800)にステップ角を切り替えると位置ずれを起こす場合があります。

4-3. HOLD電流選択スイッチの設定

⚠ 注意

設定を高くすると、モータの過熱により、やけどの原因になります。
必要以上に設定を高くしないでください。

HOLD I. SELスイッチで HOLD電流を設定します。
DRIVE電流に対する HOLD電流の割合が設定されます。

(1) DRIVE電流に対する HOLD電流の割合を設定します。

● HOLD電流の割合

$$\text{HOLD電流の割合 (\%)} = \frac{\text{HOLD電流}}{\text{DRIVE電流}} \times 100$$

DRIVE I. SEL [No. 0~No. F]	
HOLD I. SEL No.	HOLD電流の割合 (%)
0	0
1	5
2	10
3	15
4	20
5	25
6	30
7	35
8	40
9	45
A	50
B	60
C	70
D	80
E	90
F	100

(出荷時)

● HOLD電流は DRIVE電流の設定値に連動して変化します。
割合100% はDRIVE電流の設定値と同じになります。

● HOLD電流の割合を高くすると、停止時のモータ発熱が高くなります。

4-4. DRIVE電流選択スイッチの設定

⚠ 注意

設定を高くすると、モータの過熱により、やけどの原因になります。
必要以上に設定を高くしないでください。

DRIVE I. SELスイッチで DRIVE電流を設定します。

(1) スイッチNo. を「10-4. 適用モータ」の表に示す設定にします。

● DRIVE I. SELスイッチNo. と DRIVE電流の関係

DRIVE I. SEL No.	A/相
0	0.9
1	1.0
2	1.1
3	1.2
4	1.3
5	1.4
6	1.5
7	1.6
8	1.7
9	1.8
A	1.9
B	2.0
C	2.1
D	2.2
E	2.3
F	2.4 (出荷時)

4-5. パルス入力方式選択スイッチの設定

注意

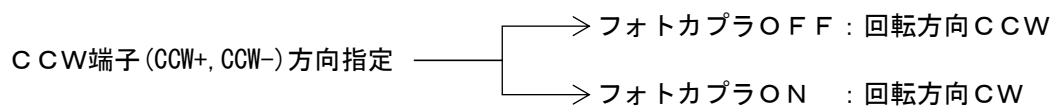
設定をあやまると、モータの予期せぬ回転により、機械の破損、けがの原因になります。
正しく設定してください。

SPI SELスイッチでパルス入力方式を設定します。
このスイッチは電源 OFF時に設定します。

- (1) 電源を [OFF] にします。
- (2) SPI SELスイッチ (2P/1P) を設定します。

SPI SEL	入力方式
ON	1パルス (1P)
OFF	2パルス (2P) (出荷時)

- CWパルス信号とCCWパルス信号の2つのパルス信号入力でモータをコントロールするときは、SPI SELを [OFF (2P)] にします。
- パルス信号と回転方向信号でモータをコントロールするときには、SPI SELを [ON (1P)] にします。
- 1パルス入力方式を選択した場合、CCW端子が方向指定入力になります。
CW端子 (CW+, CW-) にパルスを入力してください。



- 入カタイミングは2パルス入力方式／1パルス入力方式ともに同じです。
入カタイミングは「10-2. (2) ドライブパルス入力 (CW, CCW)」を参照してください。

4-6. HOLD切替時間選択スイッチの設定

DHT SELスイッチで DRIVE/HOLD電流自動切替の時間を設定します。

(1) DHT SELスイッチを設定します。

DHT SEL	DRIVE/HOLD切替時間
ON	16ms
OFF	150ms

(出荷時)

4-7. 回転特性選択スイッチの設定

注意

設定をあやまると、モータの予期せぬ回転により、機械の破損、けがの原因になります。正しく設定してください。

RM SELスイッチで回転特性を設定します。
このスイッチは電源 OFF時に設定します。

- (1) 電源を〔OFF〕にします。
- (2) RM SELスイッチを「10-4. 適用モータ」の表に示す設定にします。

RM SELスイッチ				
R4	R3	R2	R1	
OFF	OFF	OFF	OFF	(出荷時)
OFF	OFF	OFF	ON	
OFF	OFF	ON	OFF	
OFF	OFF	ON	ON	
OFF	ON	OFF	OFF	
OFF	ON	OFF	ON	
OFF	ON	ON	OFF	
OFF	ON	ON	ON	
ON	OFF	OFF	OFF	
ON	OFF	OFF	ON	
ON	OFF	ON	OFF	(調整用 (使用できません))
ON	OFF	ON	ON	
ON	ON	OFF	OFF	
ON	ON	OFF	ON	
ON	ON	ON	OFF	
ON	ON	ON	ON	

4-8. 拡張機能選択スイッチの設定

⚠ 注意

設定をあやまると、モータの予期せぬ回転により、機械の破損、けがの原因になります。
正しく設定してください。

OP SELスイッチで拡張機能を設定します。
このスイッチは電源 OFF時に設定します。

- (1) 電源を〔OFF〕にします。
- (2) OP SELスイッチで必要な機能を選択します。

OP SELスイッチ				機能割り当て	(出荷時)
P4	P3	P2	P1		
OFF	OFF	OFF	OFF	-	
OFF	OFF	OFF	ON	-	
OFF	OFF	ON	OFF	-	
OFF	OFF	ON	ON	-	
OFF	ON	OFF	OFF	-	
OFF	ON	OFF	ON	-	
OFF	ON	ON	OFF	-	
OFF	ON	ON	ON	-	
ON	OFF	OFF	OFF	-	
ON	OFF	OFF	ON	-	
ON	OFF	ON	OFF	-	
ON	OFF	ON	ON	-	
ON	ON	OFF	OFF	-	
ON	ON	OFF	ON	-	
ON	ON	ON	OFF	-	
ON	ON	ON	ON	調整用 (使用できません)	

- 拡張機能の詳細については当社までお問い合わせください。

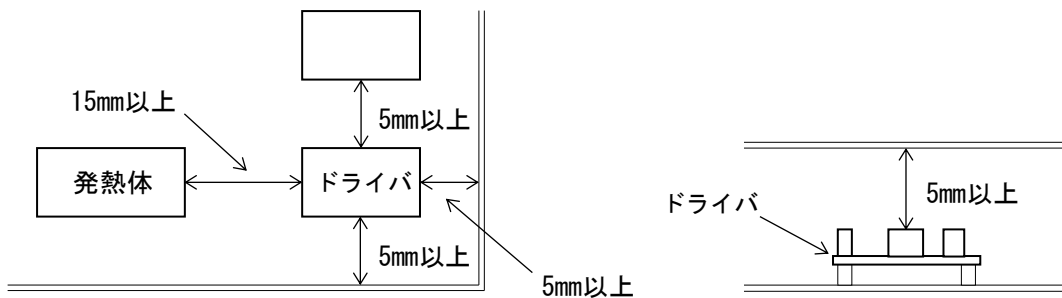
5. 取付

5-1. 取付条件

警告

不燃物に取り付けてください。
可燃物から離してください。
過熱により火災の原因になります。

- (1) 本製品は屋内で使用される機器組み込み用に設計・製造されたものです。
次のような環境に設置してください。
- 爆発性ガス、腐食性ガス、引火性ガスのない場所
 - 屋内（日光が直接あたらない場所）
 - 周囲温度や湿度が仕様値の範囲内の場所
 - ちり、ほこり、塩分、鉄粉がかからない場所
 - 製品本体に直接振動や衝撃が伝わらない場所
 - 水、油、薬品の飛沫がかからない場所
- (2) ドライバとドライバ、他の機器および構造物とは 5mm 以上離して取り付けてください。
但し、発熱体とは 15mm 以上離して取り付けてください。



- 発熱体と 15mm 以上離して取り付けられない場合は弊社までお問合せください。

- (3) 周囲の間隔を大きく開けたり、ファンを設置したりして、対流により熱がこもらないようにしてください。
- (4) 過熱警告信号が出力される場合は、強制空冷等の冷却対策を施して、過熱警告信号が出力されない範囲で使用してください。
- (5) 上に乗ったり、物を載せたりしないでください。

5-2. 取付方法

本体の丸穴を使用します。

次のものがが必要です。

● M3ねじ	-----	4個	*1
● M3スプリングワッシャ	-----	4個	*1
● スペーサ	-----	4個	*1 *2

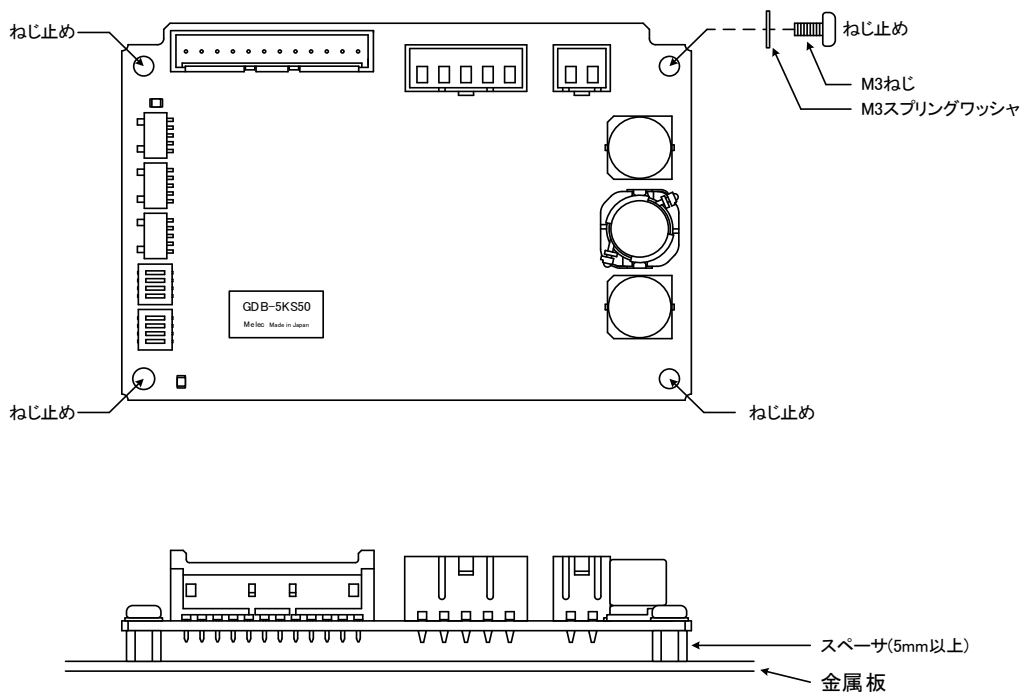
*1 ねじ、スプリングワッシャ、スペーサはφ6.5以下のものを使用してください。

*2 スペーサは長さ5mm以上のものを使用してください。

(1) 本体の丸穴4点を止めます。

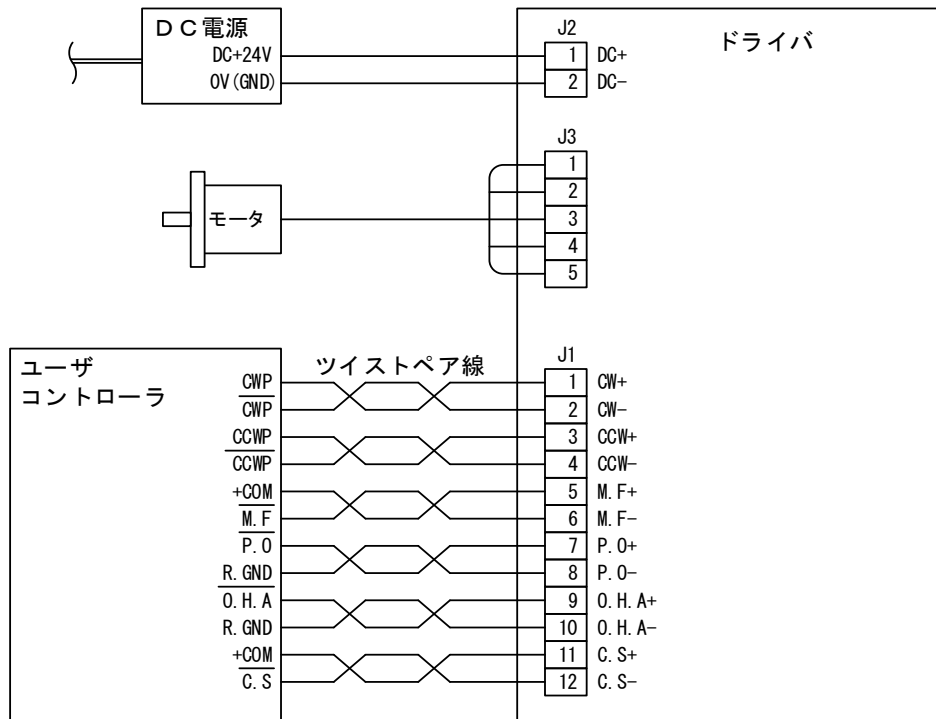
● 取付ねじの締付トルクは 0.5N・m としてください。

● 取付例



6. 接続

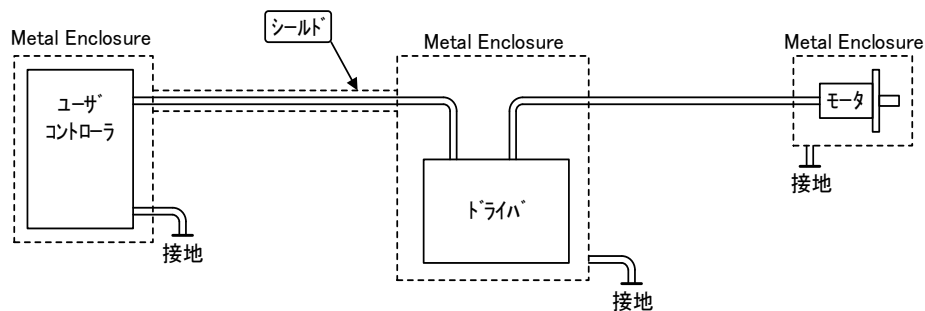
6-1. 全体の接続構成



- 1台のドライバに1個のモータのみ接続してください。
- CW・CCWの入力信号ラインはツイストペア線を使用してください。
- ノイズ発生の大きい場所では信号線をシールドしてください。
- 難燃性に優れた線材を使用してください。
- ドライバの電源には、一次側と二次側が強化絶縁された直流電源を使用してください。

〔構成例〕

金属の囲い（Metal Enclosure）とシールド線によりノイズを遮蔽します。



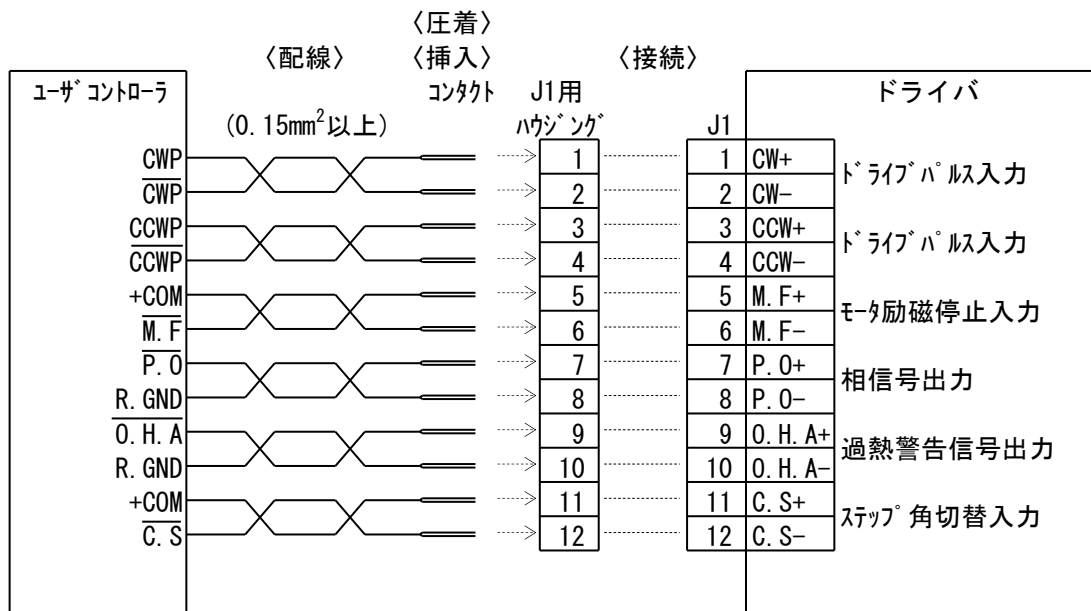
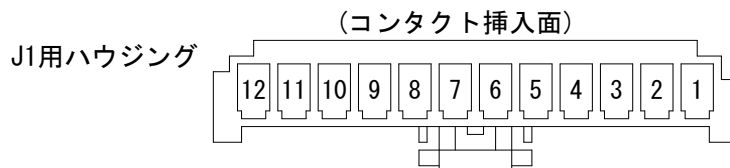
6-2. 信号入出力コネクタ（J1）の接続

次のものがが必要です。

- J1用ハウジング (51103-1200:モレックス) 1個
- コンタクト (50351-8100:モレックス) 12個
- 手動圧着工具 AWG28-22用 (57295-5000:モレックス) 1個

- (1) 配線するケーブルにコンタクトを圧着します。
- (2) コンタクトをハウジングに挿入します。
ハウジングと本体のコネクタの番号を対応させて挿入します。
- (3) ハウジングを本体のコネクタに接続します。

- J1用コンタクトは12個です。
- J1はハウジングがロックされるまでコネクタに差し込んでください。
また、コンタクトがハウジングからはずれていないか確認してください。
- J1の信号線は、ノイズ源となる機器や電源線、モータ線とは分離して配線してください。



6-3. DC入力・モータ出力コネクタ（J2、J3）の接続

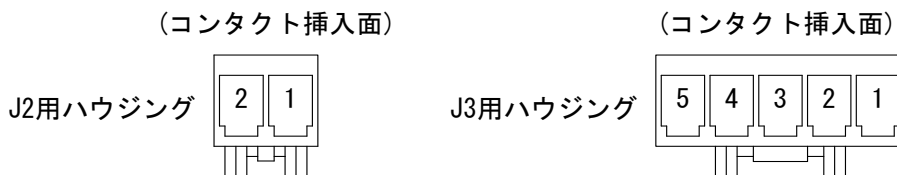
注意

接続をあやまると、モータ破損・ドライバ破損の原因になります。
モータ配線は正しく接続してください。

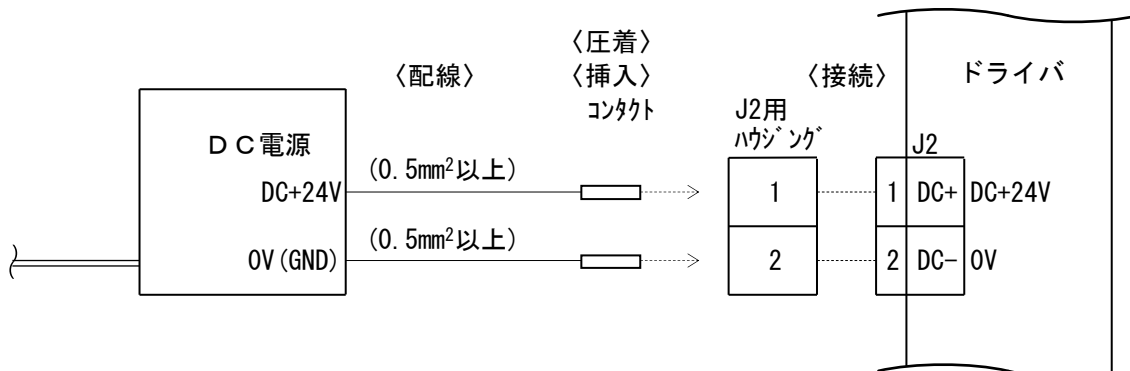
次のものがが必要です。

- J2用ハウジング (51067-0200:モレックス) 1個
- J3用ハウジング (51067-0500:モレックス) 1個
- J2, J3用コンタクト (50217-9101:モレックス) 7個
- 手動圧着工具 AWG24-18用 (57189-5000:モレックス) 1個

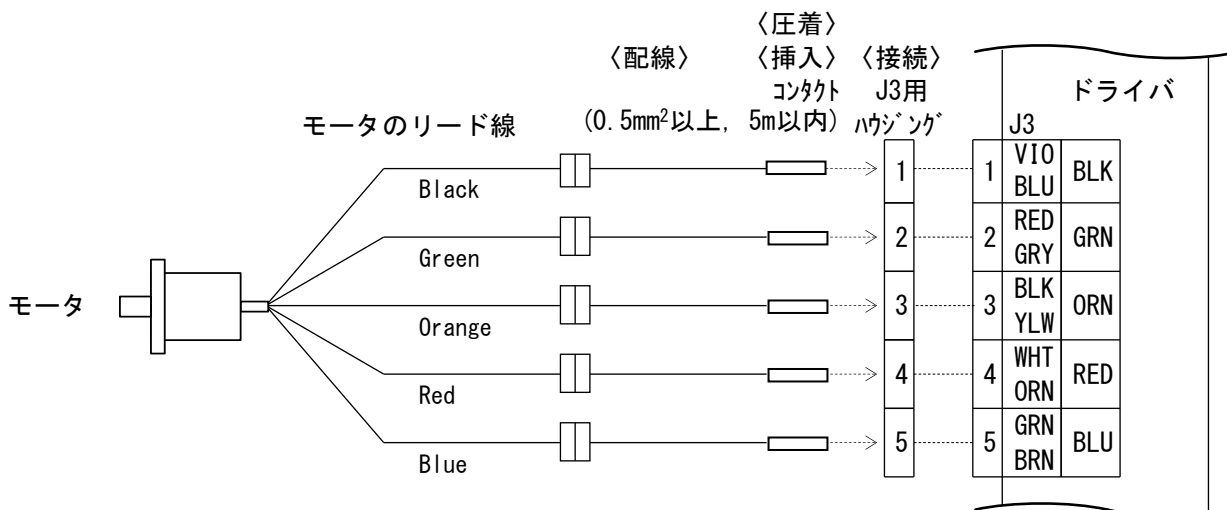
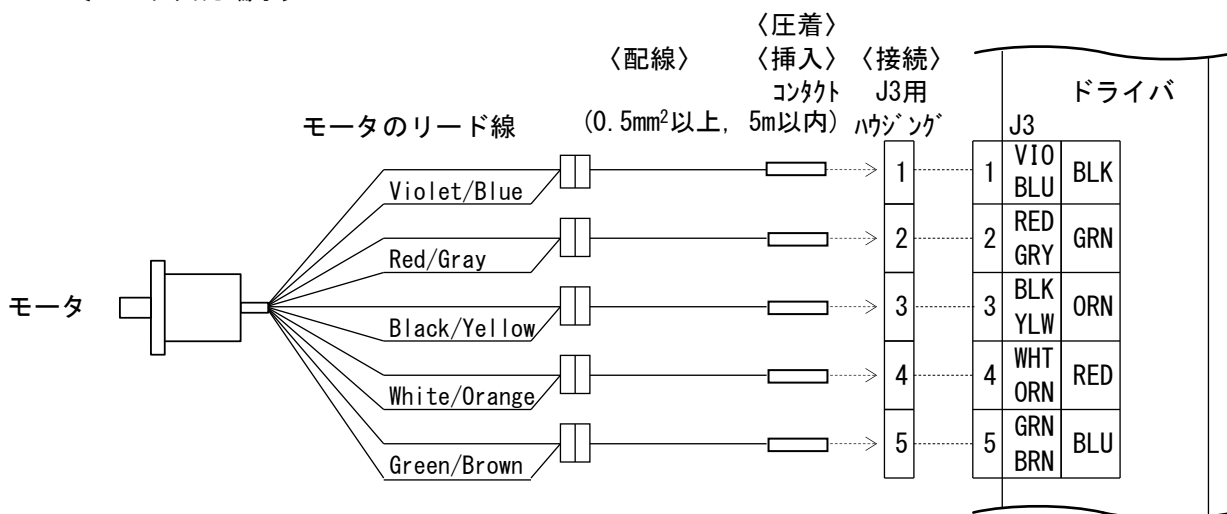
- (1) 配線するケーブルにコンタクトを圧着します。
- (2) コンタクトをハウジングに挿入します。
ハウジングと本体のコネクタの番号を対応させて挿入します。
- (3) ハウジングを本体のコネクタに接続します。
 - J2用コンタクト（DC入力用）は2個、J3用コンタクト（モータ出力用）は5個です。
 - J2、J3はハウジングがロックされるまでコネクタに差し込んでください。
また、コンタクトがハウジングからはずれていないか確認してください。



[DC入力コネクタ]



〔モータ出力端子〕



- J3の色別表示はモータのリード線色です。
- 配線するケーブルは 5m 以内にしてください。

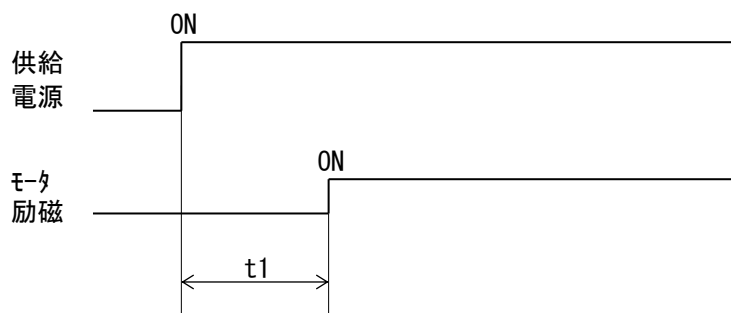
6-4. 電源の投入

⚠ 注意

モータの予期せぬ動作により、機械の破損、けがの原因になります。
いつでも非常停止できる状態にしてください。

(1) J2の1番と2番に接続したケーブルにDC電源（DC+24V）を入力します。

① タイミングチャート



$t1 \leq 300\text{ms}$ (t1 : モータの駆動が可能になるまでの時間)

7. 設定と接続の確認

7-1. チェック項目

本製品は使用するモータにより、スイッチの設定およびモータの配線が異なりますので、スイッチの設定およびモータの配線が正しいか確認してください。

チェック項目		チェック	備考
モータ選択スイッチ	MOTOR SEL (OFF)		
パルス入力方式選択スイッチ	SPI SEL (1P/2P)		
HOLD切替時間選択スイッチの設定	DHT SEL		
ステップテーブルスイッチの設定	S. T SEL (S. T1/S. T2)		
ステップ角選択スイッチの設定	STEP SEL (スイッチ No.)		
DRIVE電流選択スイッチの設定	DRIVE I. SEL (スイッチ No.)		
HOLD電流選択スイッチの設定	HOLD I. SEL (スイッチ No.)		
回転特性選択スイッチの設定	RM SEL (R4 R3 R2 R1)		
拡張機能選択スイッチの設定	OP SEL (P4 P3 P2 P1)		
J 1 の接続			
J 2 の接続	DC+, DC-		
J 3 の接続	MOTOR		

8. 保守と点検

8-1. 保守・点検

 **警告**

ヒューズ交換は行わないでください。
分解、修理、改造は行わないでください。
けが、火災の原因になります。

- (1) 保守点検は専門の技術者が行ってください。
- (2) 定期的に次の点検を行うことを推奨します。
 - コネクタにゆるみがないか。
 - ケーブル類に傷、割れはないか。
- (3) 故障した場合は当社に返却して修理を受けてください。

8-2. トラブルシューティング

不具合現象	確認内容	推定原因
1. POWER LEDが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ・電源の接続 ・電源電圧 	<ul style="list-style-type: none"> ・電源の配線ミス ・電源電圧不良 ・ドライバの故障
2. モータが励磁しない (手で簡単に回せる)	<ul style="list-style-type: none"> ・モータとドライバの接続 ・M. F信号の ON/OFF状態 ・HOLD電流選択スイッチの設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・モータとドライバの配線ミス ・M. F信号が入力されている ・HOLD電流が小さすぎる ・ドライバの故障
3. モータが回転しない モータの動作がおかしい モータが脱調する	<ul style="list-style-type: none"> ・上記 2. 項と同様の確認 ・モータ選択スイッチの設定 ・パルス入力方式選択スイッチの設定 ・パルス信号の接続 ・パルス信号の電圧、波形 ・DRIVE電流選択スイッチの設定 ・ステップ角選択スイッチの設定 ・C. S信号の ON/OFF状態 ・回転特性選択スイッチの設定 ・拡張機能選択スイッチの設定 ・O. H. A信号の出力の状態 ・O. H. A LEDの状態 	<ul style="list-style-type: none"> ・モータ選択の設定が違う ・パルス入力方式の設定が違う ・パルス信号の配線ミス ・パルス信号の仕様が違う ・DRIVE電流が小さすぎる ・ステップ角の設定が違う ・C. S信号が入力されている ・回転特性の設定が違う ・拡張機能の設定が違う ・O. H. Cによる出力電流の低下 ・O. H. Cによる出力電流の低下 ・ドライバの故障 ・モータの故障
4. 加速中に脱調する	<ul style="list-style-type: none"> ・起動パルス速度 ・加速（減速）時間 ・O. H. A信号の出力の状態 ・O. H. A LEDの状態 	<ul style="list-style-type: none"> ・起動パルス速度が高すぎる ・加減速時間が短すぎる ・O. H. Cによる出力電流の低下 ・O. H. Cによる出力電流の低下
5. モータの発熱が高い	<ul style="list-style-type: none"> ・モータ選択スイッチの設定 ・DRIVE電流選択スイッチの設定 ・HOLD電流選択スイッチの設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・モータ選択の設定が違う ・DRIVE電流が適用モータの設定より大きい ・HOLD電流の設定が高すぎる

モータ出力端子のショートがおきますとドライバが故障する原因になります。

- モータ出力端子と電源線のショート
- モータ出力端子とモータ出力端子のショート

不具合現象が解決されない場合は、当社までお問い合わせください。

9. 保管と廃棄

9-1. 保管

(1) 次のような環境に保管してください。

- 屋内（日光が直接当たらない場所）
- 周囲温度や湿度が仕様値の範囲内の場所
- 爆発性ガス、腐食性ガス、引火性ガスのない場所
- ちり、ほこり、塩分、鉄粉がかからない場所
- 水、油、薬品の飛沫がかからない場所
- 製品本体に直接振動や衝撃が伝わらない場所

(2) 上に乗ったり、物を載せたりしないでください。

9-2. 廃棄

(1) 産業廃棄物として処理してください。

10. 仕様

10-1. 一般仕様

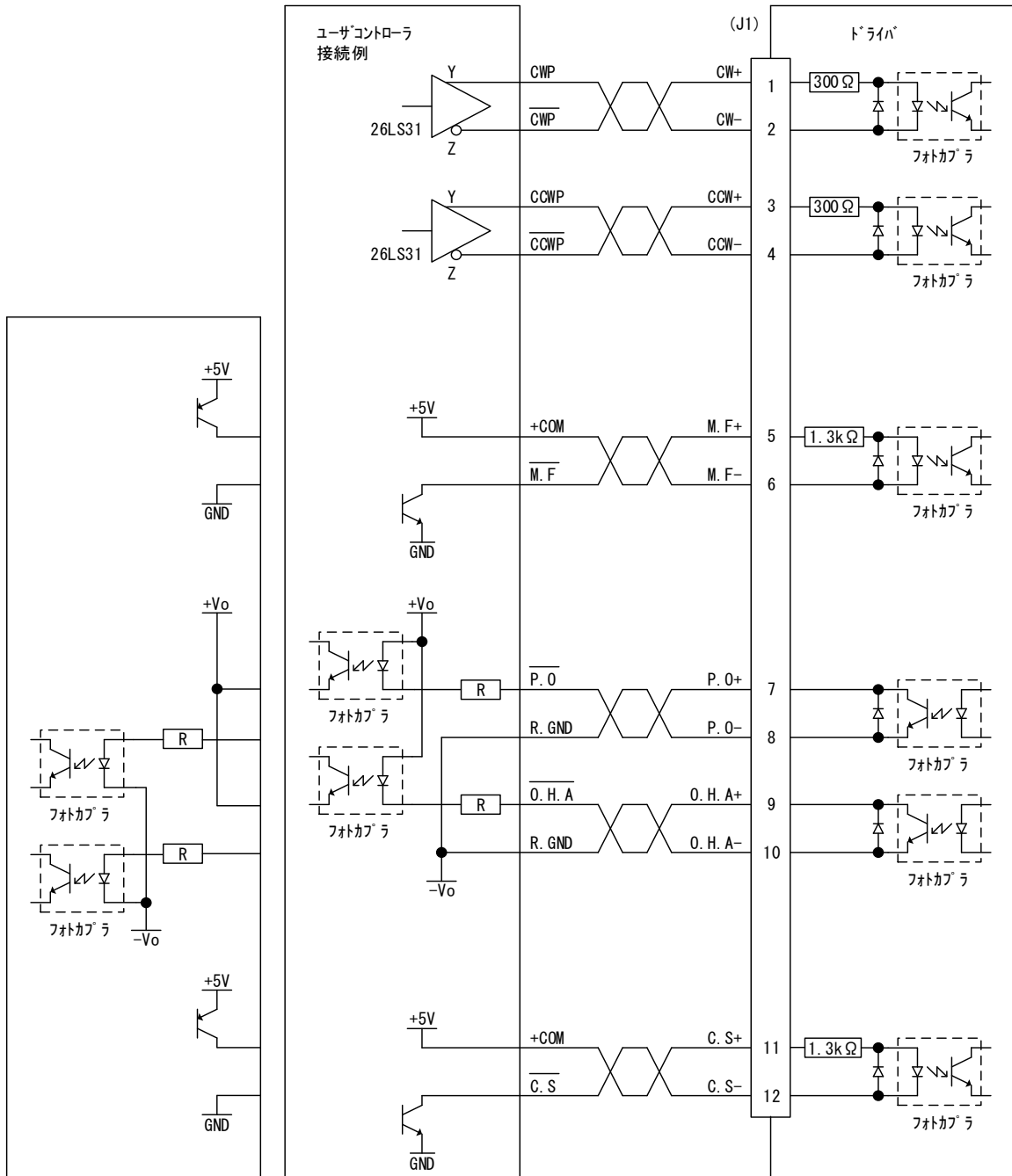
供給電源	DC+24V *1 (リップル電圧 P-P 2.0V 以下) ●DRIVE時定格電流 [DRIVE I. SEL ⇒ No. F 設定時] DC+24V: 4.0A *2 ●HOLD時定格電流 [HOLD I. SEL ⇒ 40%設定時] DC+24V: 0.4A	
モータ出力電流	●DRIVE電流 0.90A/相~2.40A/相 ●HOLD電流 DRIVE電流設定値の40%(出荷時)	
入力信号	●ドライブパルス入力 (CW, CCW) ----- フォトカプラ入力 ●モータ励磁停止入力 (M. F) ----- フォトカプラ入力 ●ステップ角切替入力 (C. S) ----- フォトカプラ入力	
出力信号	●相信号出力 (P. 0) ----- オープンコレクタ出力 ●過熱警告信号出力 (O. H. A) ----- オープンコレクタ出力	
操作部機能	●モータ選択 (MOTOR SEL) ●ステップテーブル選択 (S. T SEL) ●ステップ角選択 (STEP SEL) ●HOLD電流選択 (HOLD I. SEL) ●DRIVE電流選択 (DRIVE I. SEL) ●パルス入力方式選択 (SPI SEL) ●HOLD切替時間選択 (DHT SEL) ●回転特性選択 (RM SEL) ●拡張機能選択 (OP SEL)	
使用周囲温度	0℃ ~ +50℃ (凍結のないこと)	
使用周囲湿度	80%RH 以下 (結露のないこと)	
保存温度	-10℃ ~ +60℃ (凍結のないこと)	
保存湿度	80%RH 以下 (結露のないこと)	
使用高度	海拔1000m以下	
雰囲気	屋内(直射日光が当たらないこと)、爆発性ガス・腐食性ガス・引火性ガス・オイルミスト・塵埃のないこと。	
耐振動	10~55Hz, 0.15mm P-P にて異常のないこと。	
絶縁抵抗 (常温・常湿)	信号端子 - DC端子間	DC500V 100MΩ以上
外形寸法	H61.5 × W91 × D16 (mm)	
質量	40 g	

*1 入力電圧範囲はDC+24V±10%です。

*2 入力電流を十分供給できる電源を使用してください。

10-2. 入出力信号

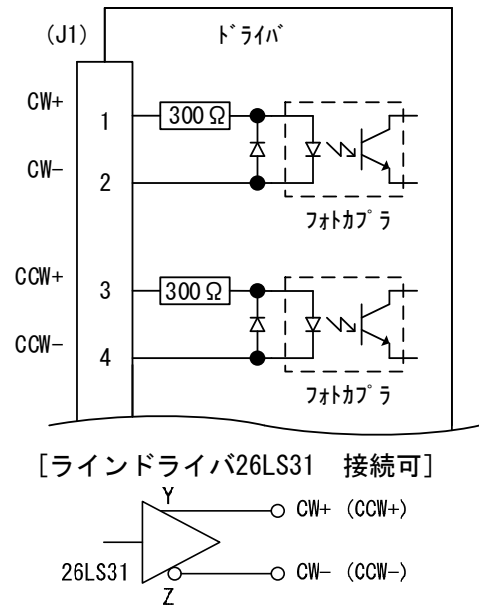
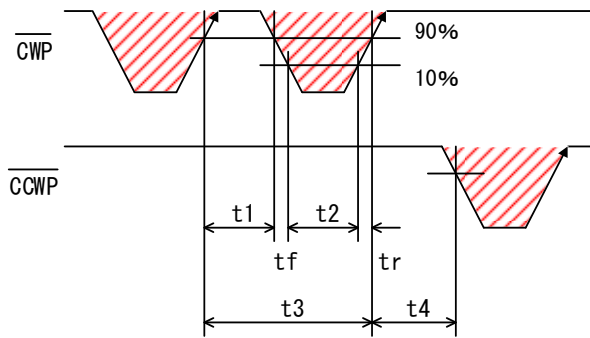
(1) 回路接続例



(2) ドライブパルス入力 (CW, CCW)

- ① 容量 5mA~14mA
端子間電圧 3.1V~5.5V で
フォトカプラON
(フォトカプラダイオードのVF≒1.5V)

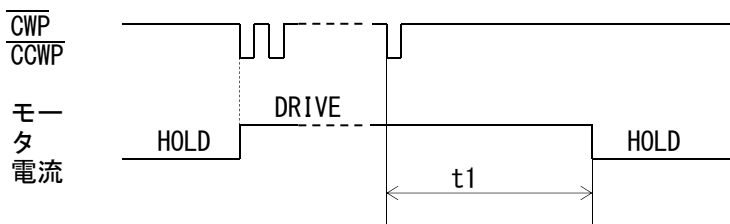
② タイミングチャート



分割数	t1, t2, tf, tr, t3, t4	最高応答周波数 (デューティ50%時)
1/1, 1/2	$t1 \geq 5\mu s, t2 \geq 5\mu s, tf, tr \leq 1\mu s, t3 \geq 10\mu s, t4 > 10\mu s$	100kHz
その他の設定	$t1 \geq 0.5\mu s, t2 \geq 0.5\mu s, tf, tr \leq 1\mu s, t3 \geq 1\mu s, t4 > 1\mu s$	1MHz

- 斜線部 (//) がフォトカプラダイオードの発光を示し、立ち上がりエッジ (↗) でモータが駆動されます。
t4はモータを含めた慣性モーメントにより大きく変化します。

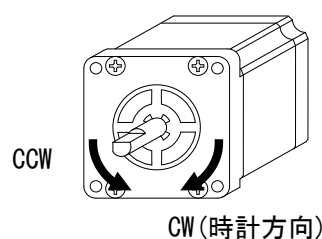
③ DRIVE/HOLD電流切替



t1 ≒ 16ms (HOLD切替時間選択スイッチ : ON)
t1 ≒ 150ms (HOLD切替時間選択スイッチ : OFF)

- ドライブパルス入力によりモータへの出力電流が HOLD電流から DRIVE電流に切り替わり、t1後に HOLD電流に戻ります。
DRIVE電流中にパルス入力されれば DRIVE電流は継続されます。

④ 回転方向

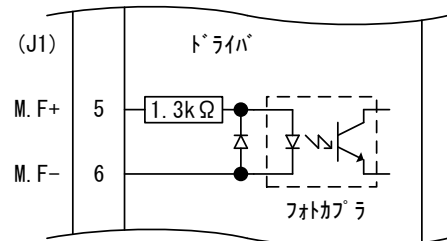


(3) モータ励磁停止入力 (M.F)

注意

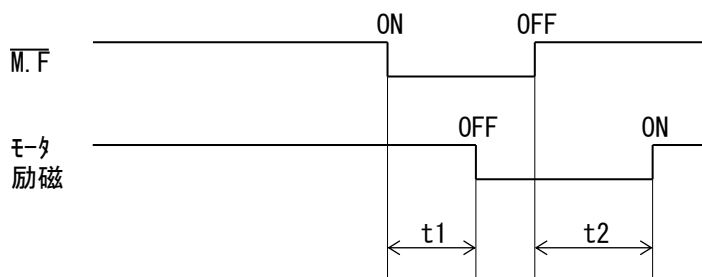
モータの保持力低下により、機械の破損、けがの原因になります。
安全を確認して入力してください。

- ① 容量 2.6mA~19.5mA
端子間電圧 4.5V~26.4Vで
フォトカプラON
(フォトカプラのVF≒1.1V)



- フォトカプラONでモータ出力電流を遮断します。
この時のモータトルクはディテントトルクになります。
- この信号が入力されるとモータトルクがなくなり、搬送物を保持できない場合があります。特に上下駆動(Z軸など)では、搬送物が落下するおそれがあります。

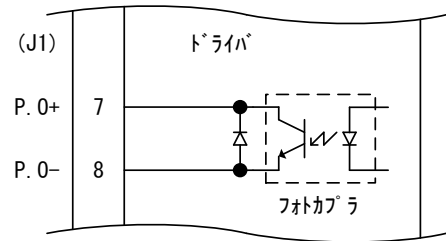
② タイミングチャート



- $t1 \leq 5\text{ms}$ (t1 : モータ出力電流が遮断されるまでの時間)
 $t2 \leq 100\text{ms}$ (t2 : モータの駆動が可能になるまでの時間)

(4) 相信号出力 (P.0)

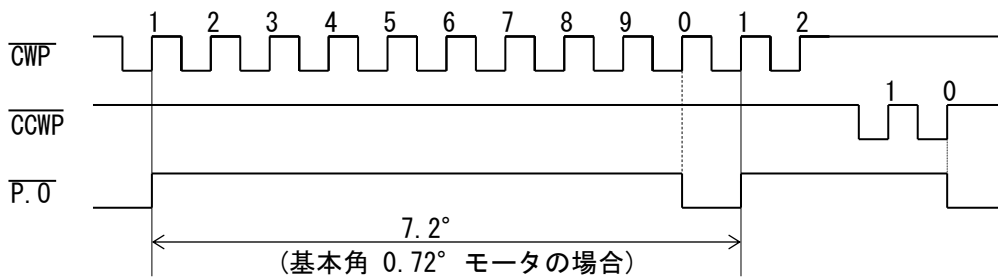
- ① 容量 a. $I_C \leq 6\text{mA}$, $V_{CE} < 2\text{V}$
 b. $I_C \leq 2\text{mA}$, $V_{CE(\text{sat})} < 0.6\text{V}$
 $V_{CE0} \leq 30\text{V}$



- POWER ON時の励磁シーケンスになったとき、信号を出力(フォトコプラがON)します。
- P.0信号と C.S信号を併用する場合は、P.0信号が出力されているときに C.S信号を入力して、ステップ角を切り替えてください。他のタイミングで C.S信号を入力しますと、P.0信号が出力できなくなる場合があります。

② タイミングチャート

- P.0 出力タイミング(1/1 STEPの場合)



- P.0 出力回数

1/1 STEP →	10パルスに 1 回出力	1/8 STEP →	80パルスに 1 回出力
1/2 STEP →	20パルスに 1 回出力	1/16 STEP →	160パルスに 1 回出力
1/4 STEP →	40パルスに 1 回出力	1/80 STEP →	800パルスに 1 回出力
1/10 STEP →	100パルスに 1 回出力	1/160 STEP →	1600パルスに 1 回出力
1/20 STEP →	200パルスに 1 回出力		
1/40 STEP →	400パルスに 1 回出力		
1/100 STEP →	1000パルスに 1 回出力		
1/200 STEP →	2000パルスに 1 回出力		
1/400 STEP →	4000パルスに 1 回出力		
1/800 STEP →	8000パルスに 1 回出力		
1/1000 STEP →	10000パルスに 1 回出力		
1/2000 STEP →	20000パルスに 1 回出力		
1/4000 STEP →	40000パルスに 1 回出力		
1/8000 STEP →	80000パルスに 1 回出力		

(5) 過熱警告信号出力、過熱警告LED (O. H. A) および過熱防止機能 (O. H. C)



警告

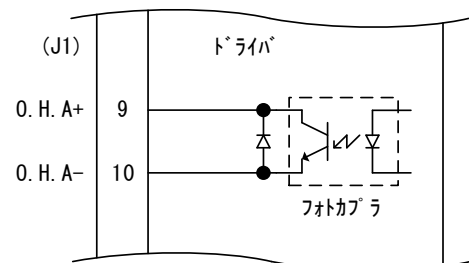
この信号が出力されたときは運転を中止してください。
過熱により、火災の原因になります。



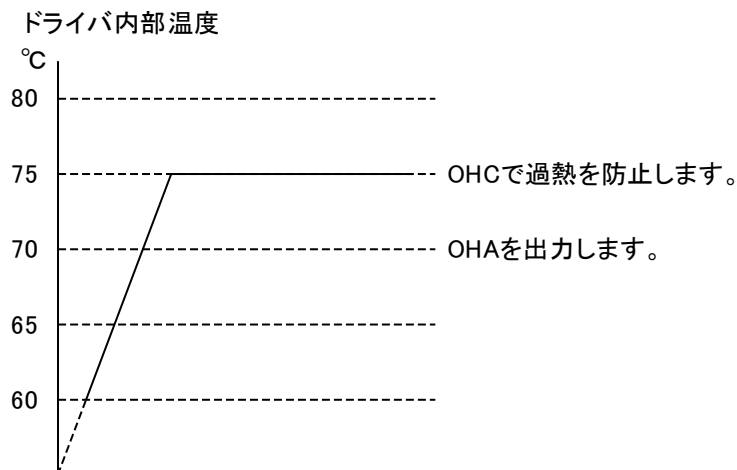
警告

このLEDが点灯したときは運転を中止してください。
過熱により、火災の原因になります。

- ① 容量 a. $I_C \leq 6\text{mA}$, $V_{CE} < 2\text{V}$
b. $I_C \leq 2\text{mA}$, $V_{CE(\text{sat})} < 0.6\text{V}$
 $V_{CE0} \leq 30\text{V}$

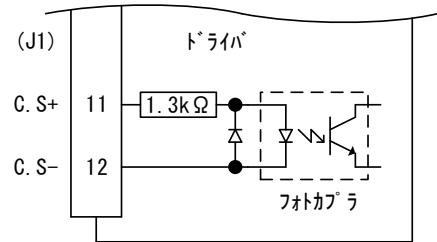


- 過熱警告信号出力 (O. H. A) は必ず使用してください。
- 内部温度が約+70°C以上になったとき、信号を出力 (フォトカプラがON) し、O. H. A LED (赤色) が点灯します。このときモータ出力電流は遮断されません。
- O. H. Aが出力されたときは運転を止めてモータ及びドライバに異常が発生していないか確認してください。
- 異常のない状態でO. H. Aが出力される場合は、強制空冷を施してください。
- O. H. Aが出力されない状態では連続駆動が可能です。
- 内部温度が約+75°C以上になると過熱防止機能 (O. H. C) によって出力電流を引き下げて過熱を防止します。
過熱防止機能 (O. H. C) によって出力電流が1.2A/相を下回ることはありません。



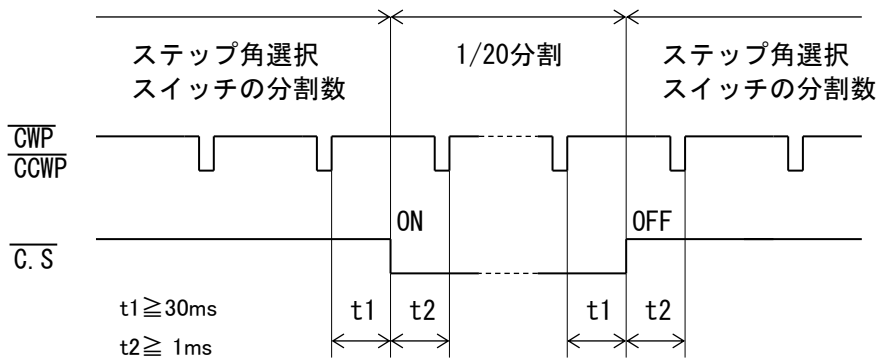
(6) ステップ角切替入力 (C.S)

- ① 容量 2.6mA~19.5mA
端子間電圧 4.5V~26.4Vで
フォトカプラON
(フォトカプラのVF≒1.1V)



- フォトカプラONでステップ角を 1/20分割に切り替えます。
ステップ角選択スイッチの設定は無視されます。
- 分割数1/1000、1/2000、1/4000、1/8000の設定でC.S信号でステップ角を切り替えると位置ずれを起こす場合があります。

② タイミングチャート



- C.S信号によるステップ角切り替えを行う場合は、ドライブパルスの入力前後に t1, t2 の時間が必要です。

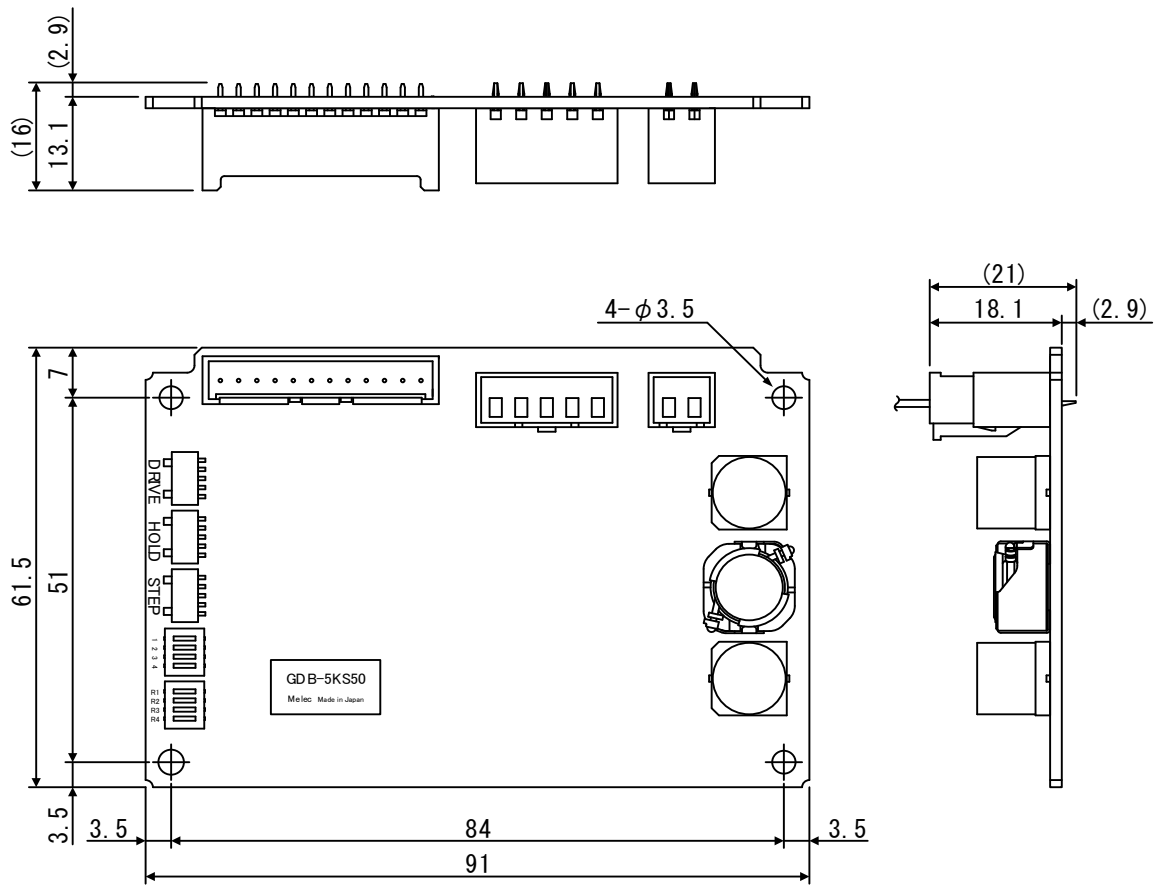
③ ステップ角選択スイッチと C.S信号

S.T SEL スイッチ [OFF : S.T1]			S.T SEL スイッチ [OFF : S.T2]		
STEP SEL No.	分割数	ステップ角(°) 0.72° モータ	STEP SEL No.	分割数	ステップ角(°) 0.72° モータ
0	1/1	0.72	0	1/1	0.72
1	1/2	0.36	1	1/2	0.36
2	1/4	0.18	2	1/4	0.18
3	1/8	0.09	3	1/8	0.09
4	1/10	0.072	4	1/10	0.072
5	1/20	0.036	5	1/20	0.036
6	1/40	0.018	6	1/40	0.018
7	1/80	0.009	7	1/80	0.009
8	1/100	0.0072	8	1/100	0.0072
9	1/200	0.0036	9	1/200	0.0036
A	1/400	0.0018	A	1/400	0.0018
B	1/800	0.0009	B	1/800	0.0009
C	1/1000	0.00072	C	1/1000	0.00072
D	1/2000	0.00036	D	1/2000	0.00036
E	1/4000	0.00018	E	1/16	0.045
F	1/8000	0.00009	F	1/160	0.0045

→ [C.S信号入力時]
1/20分割
(0.036°)

10-3. 寸法図

(単位 : mm)



10-4. 適用モータ

(1) 5相ステッピングモータ (1.2A/相~2.8A/相) を駆動の対象にしています。

① 適用モータ例

【山洋電気製】		電流 (A/相)	DRIVE I. SEL スイッチ設定	MOTOR SEL スイッチ設定	RM SEL スイッチ設定				トルク特性図 番号
					4	3	2	1	
60角	103F7852-8241 (8211)	1.4	5	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	Fig. 1
	103F7853-8241 (8211)	1.4	5	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	-
	SF5601-9251	2.8	F	OFF	OFF	ON	OFF	ON	Fig. 2
	SF5602-9251	2.8	F	OFF	OFF	ON	ON	OFF	Fig. 3
	SF5603-9251	2.8	F	OFF	OFF	ON	ON	ON	Fig. 4
【オリエンタルモーター製】		電流 (A/相)	DRIVE I. SEL スイッチ設定	MOTOR SEL スイッチ設定	RM SEL スイッチ設定				トルク特性図 番号
					4	3	2	1	
28角	PKP523N12A (B)	1.2	3	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	Fig. 5
	PKP525N12A (B)	1.2	3	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	-
42角	PKP543N18A (B) 2	1.8	9	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	Fig. 6
	PKP544N18A (B) 2	1.8	9	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	Fig. 7
	PKP545N18A (B) 2	1.8	9	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	Fig. 8
	PKP546N18A (B) 2	1.8	9	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	Fig. 9
60角	PK564H-A (B)	1.4	5	OFF	OFF	OFF	ON	ON	-
	PK566H-A (B)	1.4	5	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	Fig. 10
	PK569-A (B)	1.4	5	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	-
	PKP564FN24A (B) 2	2.4	F	OFF	OFF	ON	OFF	ON	Fig. 11
	PKP566FN24A (B) 2	2.4	F	OFF	OFF	ON	ON	OFF	Fig. 12
	PKP569FN24A (B) 2	2.4	F	OFF	OFF	ON	ON	ON	Fig. 13
出荷時設定			F	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	-

() : 両軸

●上記以外のモータを使用する場合は当社までお問い合わせください。

10-5. トルク特性

- (1) トルク特性表は、モータ回転速度(s^{-1}) 対 トルク(N・m)で表示してあります。
モータ回転速度(s^{-1})とドライブパルス入力周波数(Hz)は、次のように換算されます。

$$\text{モータ回転速度}(s^{-1}) \times \frac{360^\circ}{\text{STEP角}} = \text{ドライブパルス入力周波数(Hz)}$$

モータ回転速度(s^{-1})とモータ回転速度(r/min)は、次のように換算されます。

$$\text{モータ回転速度}(s^{-1}) \times 60 = \text{モータ回転速度(r/min)}$$

- モータ回転速度は $100s^{-1}$ (6000r/min) 以下で使用してください。
- (2) 自起動周波数は「fs」として慣性負荷ゼロの値を示してあります。
- (3) トルクには余裕をみて使用してください。
- (4) ステッピングモータは使用条件によっては温度が高くなる場合があります。
モータメーカーの取扱説明書に記されている注意事項に従って使用してください。

Fig. 1

GDB-5KS50
 103F7852-8241 (8211)
 1.4A/PHASE

DRIVE 1.SEL = No5
 MOTOR SEL = OFF
 RM1, RM2, RM3, RM4 = OFF, OFF, ON, OFF
 DC24V

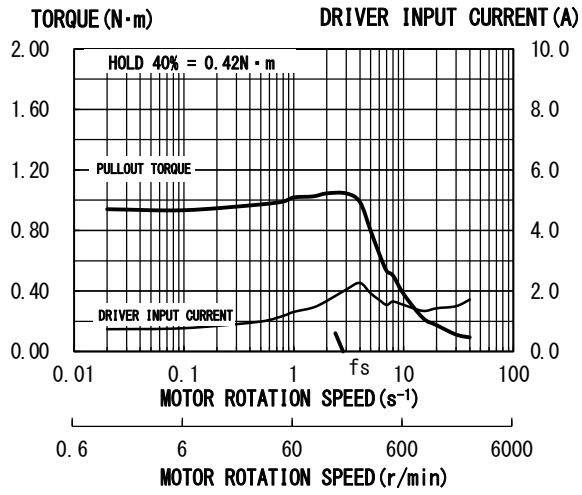


Fig. 2

GDB-5KS50
SF5601-9251
2.8A/PHASE

DRIVE 1. SEL = NoF
MOTOR SEL = OFF
RM1, RM2, RM3, RM4 = ON, OFF, ON, OFF
DC24V

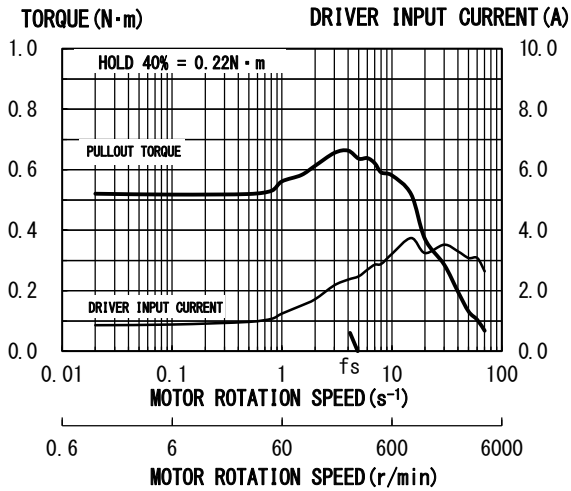


Fig. 3

GDB-5KS50
SF5602-9251
2.8A/PHASE

DRIVE 1. SEL = NoF
MOTOR SEL = OFF
RM1, RM2, RM3, RM4 = OFF, ON, ON, OFF
DC24V

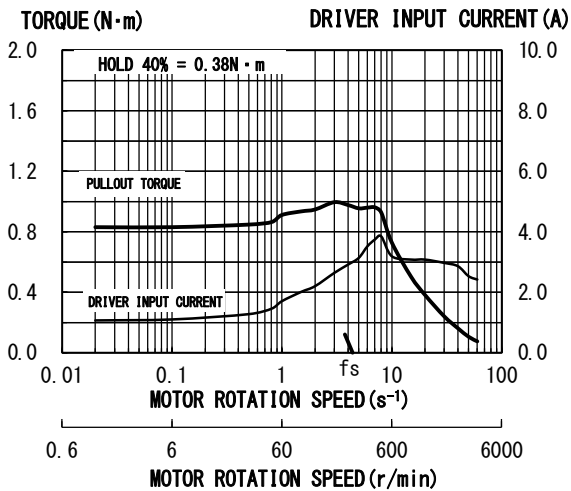


Fig. 4

GDB-5KS50
SF5603-9251
2.8A/PHASE

DRIVE 1. SEL = NoF
MOTOR SEL = OFF
RM1, RM2, RM3, RM4 = ON, ON, ON, OFF
DC24V

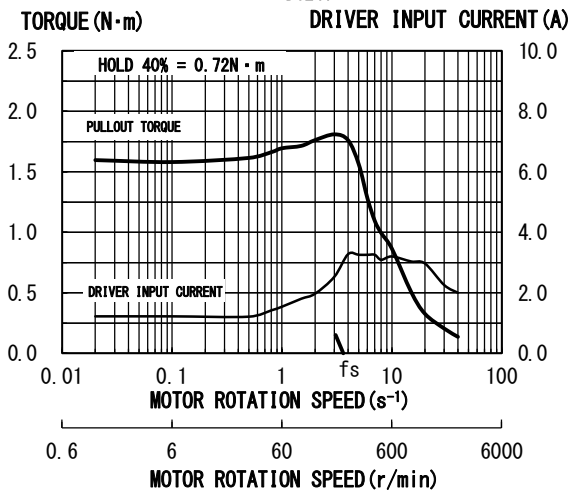


Fig. 5

GDB-5KS50
PKP523N12A(B)
1.2A/PHASE

DRIVE 1.SEL = No3
MOTOR SEL = OFF
RM1, RM2, RM3, RM4 = ON, OFF, OFF, OFF
DC24V

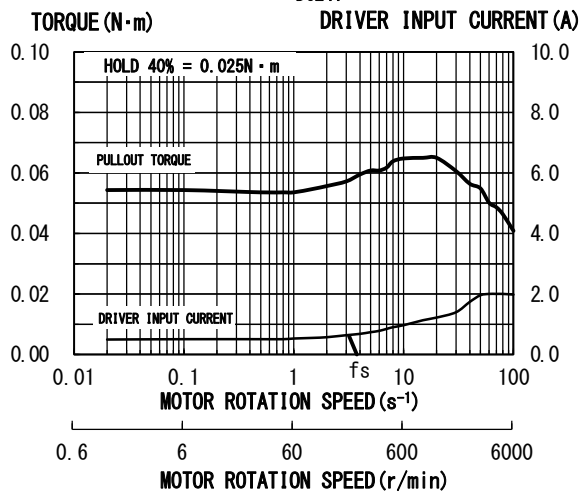


Fig. 6

GDB-5KS50
PKP543N18A (B)
1.8A/PHASE

DRIVE 1. SEL = No9
MOTOR SEL = OFF
RM1, RM2, RM3, RM4 = OFF, ON, OFF, OFF
DC24V

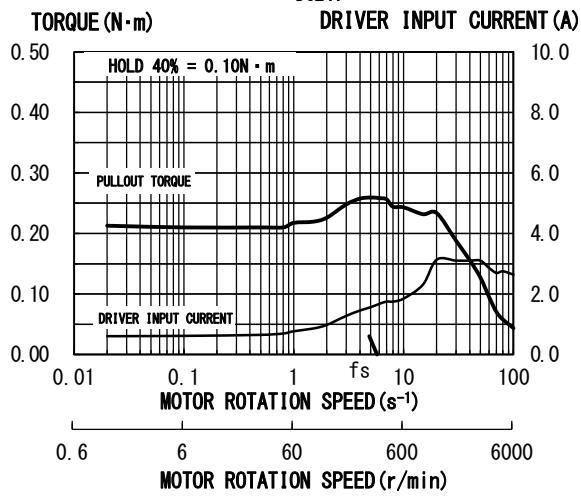


Fig. 7

GDB-5KS50
PKP544N18A (B)
1.8A/PHASE

DRIVE 1. SEL = No9
MOTOR SEL = OFF
RM1, RM2, RM3, RM4 = OFF, ON, OFF, OFF
DC24V

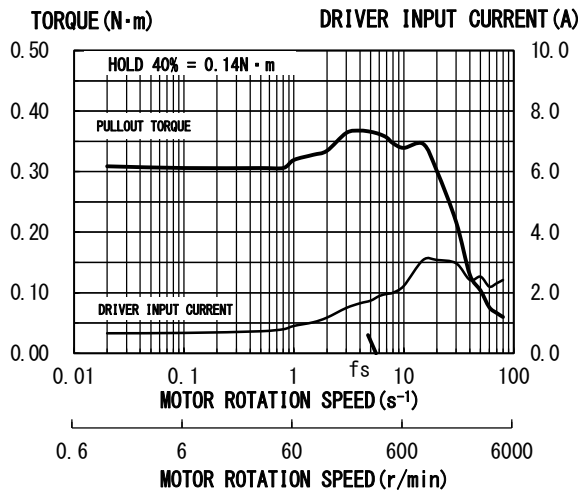


Fig. 8

GDB-5KS50
PKP545N18A (B)
1.8A/PHASE

DRIVE 1. SEL = No9
MOTOR SEL = OFF
RM1, RM2, RM3, RM4 = OFF, ON, OFF, OFF
DC24V

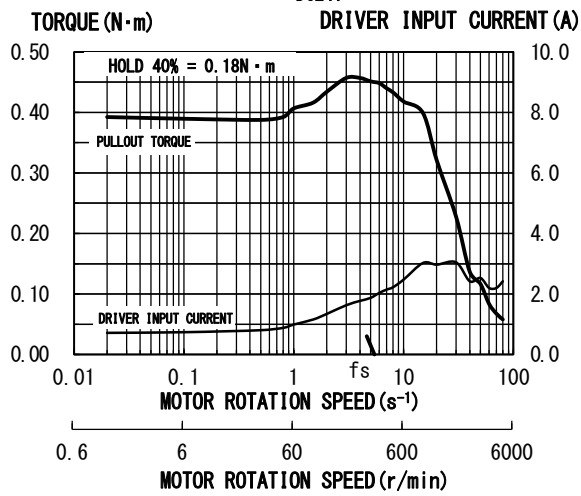


Fig. 9

GDB-5KS50
PKP546N18A (B)
1.8A/PHASE

DRIVE 1. SEL = No9
MOTOR SEL = OFF
RM1, RM2, RM3, RM4 = OFF, ON, OFF, OFF
DC24V

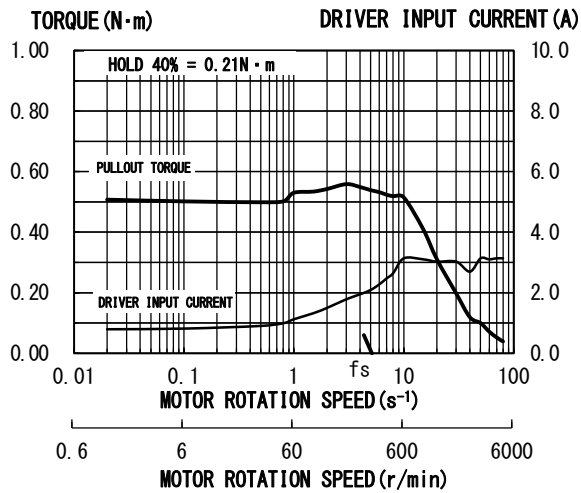


Fig. 10

GDB-5KS50
 PK566H-A (B)
 1.4A/PHASE

DRIVE 1.SEL = No5
 MOTOR SEL = OFF
 RM1, RM2, RM3, RM4 = OFF, OFF, ON, OFF
 DC24V

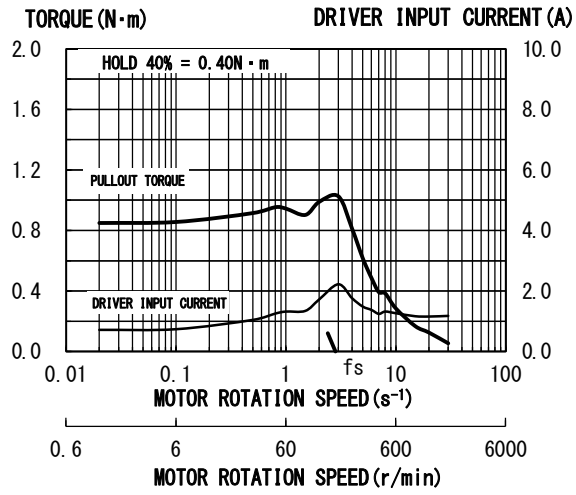


Fig. 11

GDB-5KS50
PKP564FN24A (B) 2
2.4A/PHASE

DRIVE 1. SEL = NoF
MOTOR SEL = OFF
RM1, RM2, RM3, RM4 = ON, OFF, ON, OFF
DC24V

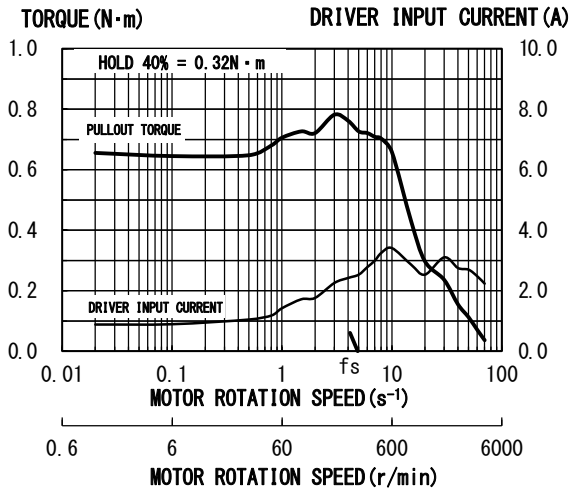


Fig. 12

GDB-5KS50
PKP566FN24A (B) 2
2.4A/PHASE

DRIVE 1. SEL = NoF
MOTOR SEL = OFF
RM1, RM2, RM3, RM4 = OFF, ON, ON, OFF
DC24V

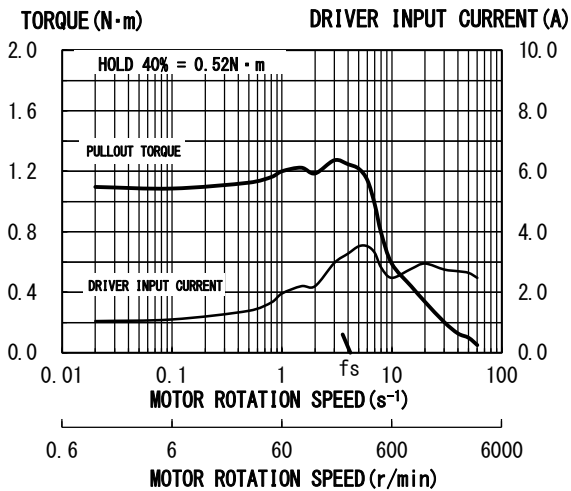
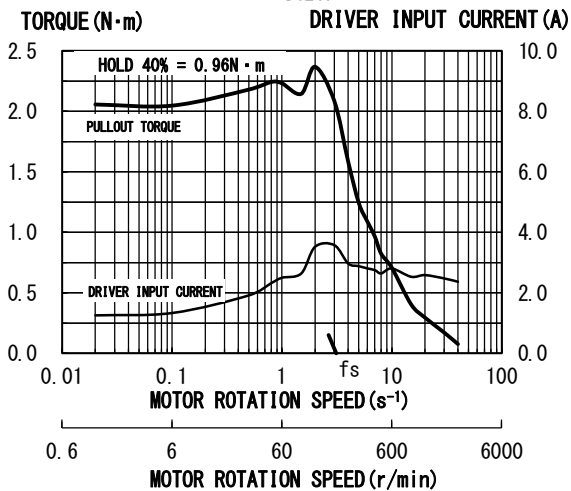


Fig. 13

GDB-5KS50
PKP569FN24A (B) 2
2.4A/PHASE

DRIVE 1. SEL = NoF
MOTOR SEL = OFF
RM1, RM2, RM3, RM4 = ON, ON, ON, OFF
DC24V



本版で改訂された主な箇所

箇 所	内 容

■ 製品保証

保証期間と保証範囲について

- 納入品の保証期間は、納入後2ヶ年と致します。
- 上記保証期間中に当社の責により故障を生じた場合は、その修理を当社の責任において行います。
(日本国内のみ)

ただし、次に該当する場合は、この保証対象範囲から除外させていただきます。

- (1) お客様の不適切な取り扱い、ならびに使用による場合。
- (2) 故障の原因が、当製品以外からの事由による場合。
- (3) お客様の改造、修理による場合。
- (4) 製品出荷当時の科学・技術水準では予見が不可能だった事由による場合。
- (5) その他、天災、災害等、当社の責にない場合。

(注1) ここでいう保証は、納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦頂きます。

(注2) 当社において修理済みの製品に関しましては、保証外とさせていただきます。

技術相談のお問い合わせ

TEL. (042) 664-5382 FAX. (042) 666-5664
E-mail s-support@melec-inc.com

販売に関するお問い合わせ

TEL. (042) 664-5384 FAX. (042) 666-2031

株式会社 **メレック** 制御機器営業部
〒193-0834 東京都八王子市東浅川町516-10

URL:<http://www.melec-inc.com>